

Co2排出削減量・省人化時間可視化機能を搭載した 「物流バス」予約システムを提供開始

センコー株式会社(本社:大阪市北区、社長:杉本 健司、以下「センコー」)は、5月9日、Co2排出削減量・省人化時間を可視化した「物流バス」予約システム 九州⇒関東便(以下「当システム」)のサービス提供を開始しました。

1. 輸送サービス詳細

| 発地 (福岡県 福岡市東区箱崎ふ頭) | | | | 着地 (神奈川県 川崎市川崎区東扇島) | | | | | |
|----------------------|------------|------------|------------|---------------------|-------|---------|-------------|--------|--|
| サービス名 | 持込日 | 乗船日 | 配送日 | 料金 | 省人化時間 | CO2排出量 | CO2排出削減量 | CO2削減率 | |
| 九州⇒関東 海上 10トン陸送車代行輸送 | 2022/05/09 | 2022/05/09 | 2022/05/11 | ¥135,000 | 20時間 | 312.8kg | 648.5kg-CO2 | 67.5% | |

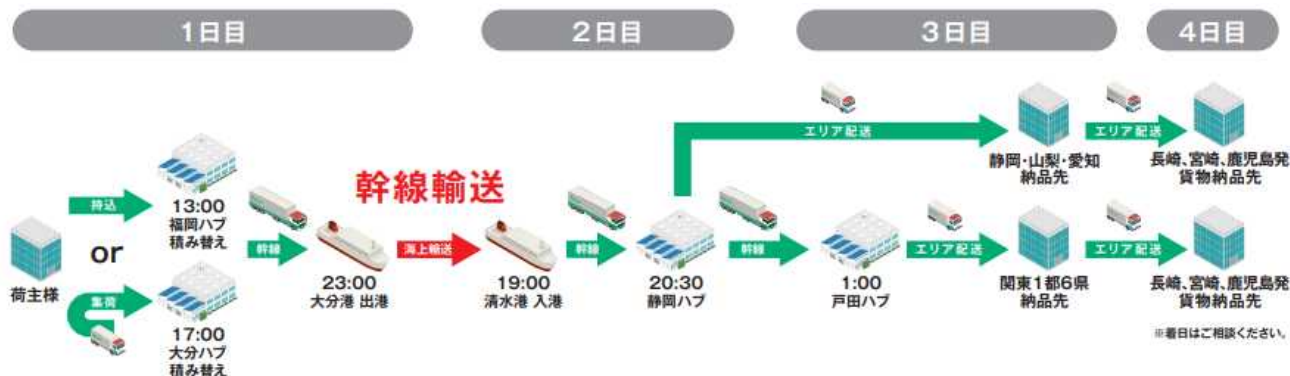
「物流バス」予約システム登録画面

センコーでは2021年4月から路線バスのように気軽に利用できる新たな長距離輸送サービス「物流バス」を運行していますが、今回、川崎近海汽船(本社:東京都千代田区、社長:久下 豊)の大分～清水航路を利用した「10トン陸送車代行輸送」が新たにメニューに加わりました。

簡単にWEBで予約できるシステムを導入するとともに、物流バスのメニューである、「20トントレーラ貸し切り」「積み合わせスペース販売」と今回提供する新サービス「10トン陸送車代行輸送」の利用によるCo2削減量と省人化時間を予約画面で確認できるようにしました。例えば、九州～関東間の片道陸送と海上輸送では約61%のCo2削減(大分港～清水港間相当距離の陸送比)と約20時間の省人化効果が見込めます。

10トン陸送車代行輸送とは、九州から関東方面へのトラック輸送で主力の10トン車の代行輸送手段として、大分港から清水港間で20トンシャーシに貨物を積み替えて海上輸送するもので、トラックの長距離走行の削減策として2024年問題(※)への対応を行い、物流業界全体の脱炭素化、省人化の実現を目指します。

今後は、九州⇒関西、関東・関西⇒九州、関東⇄関西間などで予約システムのサービスメニューを拡大させ、輸送エリアの拡大と当システムの普及を通じ、次世代の長距離幹線輸送の構築と浸透を進めていく考えです。



輸送ルート(九州⇒関東)

※着日はご相談ください。

※2024年問題: 2024年の法改正により、ドライバーの時間外労働時間に上限規制が適用され、現在の長距離輸送方法では目的地への円滑な配送が難しくなること。

「物流バス」予約システム WEB サイト

https://www.tgcct.senko.co.jp/tgc-web-public/index.html?caller=login_bus_reserve

<関連リンク>

・プレスリリース「長距離幹線輸送の新サービス「物流バス」を本格運行～運輸業界の課題解決に貢献～」

(2021/3/23)

<https://www.senkogrouphd.co.jp/about/news/assets/940413ed25880ea35abbaa7eb40bf228eca55014.pdf>

・プレスリリース「「ダブル連結トラック」出発式を開催～長距離輸送の省人化と脱炭素を推進～」

(2022/1/27)

<https://www.senkogrouphd.co.jp/about/news/assets/297455b7d516faaef21c445dff98fe4af95d506d.pdf>